

2026 年 5 月 7 日

神島化学、新しいコーポレートアイデンティティを策定し、次の 100 年に向けての活動を開始

神島化学工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：布川明、以下「神島化学」）は、1917 年の創業から、100 年以上の歩みを重ねてきました。次の 100 年に向けては、社会のニーズに応え、製品やその製造プロセスを通じて持続可能性を高めていくことを大きな目標としています。

その目標達成のため、この度、企業理念を以下のように改定しました。

「素材の探究を通じて、より広く、より深く社会に貢献する。」

この企業理念を追求するため新たに「私たちは広く社会のニーズを掴み、深く技術を磨き、持続性ある地球を創っていきます。」という経営方針を掲げ、活動を開始しました。その中の大きな取り組みが「KONOSHIMA CO2 RECYCLE PRODUCTION SYSTEM」による環境に優しい建材や化成品の製造と、そこから産み出された「KONOSHIMA CO2 RECYCLE PRODUCTS」の市場投入です。

こうした持続可能性の実現に大きく寄与する企業活動の象徴として、新しいコーポレートシンボルマークが誕生しました。



KONOSiMA

分子構造を想起させる3つの球体は、液体の雫のような形態で海水から材料を取り出してきた私たちの起源を意味します。さらに、自由な発想力を強みに現在の3つの事業を発展させてきた歴史も表しています。また、液体の雫のような形状と立体的な表現によって未来に産み出される新たな事業の可能性をも示唆しています。

シンボルマークに使われるブルーは神島化学の技術を、グリーンは地球環境を象徴しています。また、ブルーからグリーンへのグラデーションで私たちの技術が地球環境を守り、育んでいく様子を表現しています。

ロゴの KONOSiMA の「SiMA」は地球科学における地殻のひとつを示す用語で、構成物のケイ素(Silicon)とマグネシウム(Magnesium)の頭文字から作られた造語です。私たちの事業に馴染みの深い物質であるケイ素のiを敢えて小文字で表記し、そこにアクセントカラーのブルーをあしらうことで私たちの素材開発との深いつながりを表現しています。

この新しいコーポレートシンボルマークを旗印に私たちは今後も一層、素材の探究を通じて、より広く、より深く社会に貢献して参ります。

以上